

アクセスコントロールプラットフォーム「ALLIGATE(アリゲイト)」 扉やロッカーの鍵などの4製品を発表

株式会社アート(東京都品川区、代表取締役社長:関本祥文)は、自社が運営するアクセスコントロール専用プラットフォーム「ALLIGATE(アリゲイト)」に対応した4製品を発表しました。



<https://alligate.me/product>

これは、当社がセキュリティ専門メーカーとして長年培ってきた技術とノウハウに加え、当社親会社である株式会社アイ・エス・ビー(本社:東京都品川区、代表取締役社長:若尾逸雄)より通信・ソフトウェア技術のサポートを受け製品化したものです。

製品の詳細については、ALLIGATEのWebサイト内に開設予定のプロダクト専用のWebコンテンツ(5月8日開設予定)をご確認ください。

なお、2018年5月9日から東京ビッグサイト(西ホール)で開催されるIoT/M2M展に展示します。

1. 製品概要について

- | | |
|-----------------------------|---------------------------------------|
| ① ALLIGATE Lock (扉向け) ... | 扉の鍵としてご利用頂けます |
| ② ALLIGATE Lock (ロッカー用) ... | ロッカーやキャビネットの鍵としてご利用頂けます |
| ③ ALLIGATE Logger ... | 簡易型の勤怠時間記録装置としてご利用頂けます |
| ④ ALLIGATE IO ... | 自動扉や駐車場ゲートなど様々な電気制御可能な機器に取り付けてご利用頂けます |

これら4製品は全てALLIGATEのプラットフォーム上で動作し、同一のUIで操作、運用が可能です。また、当社との保守サポート契約により、利用者は専門知識がなくても安心してご利用頂けます。

2. 製品化の背景

ALLIGATEは、クラウドからのアクセス権の付与・抹消、利用履歴の確認などのアクセスコントロールに必要な機能を共通化したプラットフォームです。このプラットフォームをベースにお客様の利用用途に合わせた製品を提供します。

ALLIGATE は 2017 年 11 月のリリース後、様々なお客様から机やロッカー、自動扉、駐車場ゲートなど、通常の扉の鍵にとどまらない用途での利用のご相談を頂き、オーダーメイドではなくレディメイドとすべく、製品開発を進めました。これにより、ALLIGATE はプラットフォームベースでの汎用的なレディメイドと顧客の要望に合わせたきめの細かいオーダーメイドとの2つの提供方法で、今後お客様へのご提案を進めていく所存です。

3. 製品の展示、発売時期について

2018 年 5 月 9 日から東京ビッグサイト(西ホール)で開催される IoT/M2M 展に、この度発表しました新製品を展示します。当日はオフィスセキュリティからシェアリングエコノミーへの具体的な利用例を展示する予定です。(https://alligate.me/2018/04/15/130/)

また、製品の発売時期につきましては、2018 年秋以降を予定しております。具体的な時期に関しましては、決まり次第、当社 ALLIGATE プロダクト Web サイトにてご報告します。

(補足)ALLIGATE(アリゲイト)について

「ALLIGATE(アリゲイト)」は、スマホを用い、電子錠などのゲートの開閉管理が行えるクラウド型のプラットフォームです。スマホを使っていつでもどこからでも電子錠などのゲートをアクセスコントロールできます。また、機器の取り付けや運用後の現地での保守サポートも併せ持ったマネージド型のプラットフォームです。

株式会社アートが運営する「ALLIGATE(アリゲイト)」の詳細については以下の Web サイトをご覧ください。



ALLIGATE

<https://alligate.me>

◆本記事に対するお問い合わせ先:

株式会社アート 事業開発部 (担当: 田村 和寛・中村 太一)

TEL: 044-430-5321(代) FAX: 044-430-5322

E-Mail: alligate@art-japan.co.jp

Web : <https://alligate.me/>

※その他の会社名・商品名は各社の商標または登録商標です。

※記載された内容は 2018 年 4 月現在のものです。

記事の掲載をご検討頂ければ幸いです。